

令和 5 年 1 月 1 6 日
鹿嶋市総合計画審議会資料

第四次鹿嶋市総合計画の施策目標を達成するため、鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2022年度版)における次の「主な事業指標」の変更等をご提案いたしますので、ご審議をお願いいたします。

- 1 基本政策：多様性を理解し共に生きる
施策：まちぐるみで子育てを応援する

【総合戦略事業】

結婚活動支援事業費

【具体的な事業/概要】

(一社) いばらき出会いサポートセンターの市民会員数(特に女性)の登録者数の増を目指す

【KPI(事業指標)】

《変更》

変更前：いばらき出会いサポートセンターの登録会員数

現状値：50人 目標値：70人

変更後：削除

理由：結婚活動支援事業につきましては、少子化の要因のひとつでもある未婚化・晩婚化の流れを変え、様々な形で男女の出会いの場を創出するため、いばらき出会いサポートセンター(2006年に茨城県と県労働者福祉協議会が開設し、各市町村からの負担金により県が運営)と連携して、婚活イベントや結婚相談のほか、同センターの入会登録料の一部助成等を行い、様々な形での支援を行っています。

当初の計画では、「いばらき出会いサポートセンターへの登録会員数」を事業指標として設定しておりました。しかしながら、現状では「登録」→「マッチング」及び「結婚」までの実績件数は把握できるものの、その後の「結婚」→「出産」への一連の流れの中では、個々人(またはカップル)のプライバシー保護による追跡は困難であり、総合計画の施策指標である出生数の増加へつなげるための方策としてKPIを「登録会員数」とすることの効果検証が困難な状況であることに鑑み、今回、事業指標の項目の削除を行うものです。

なお、今後につきましては、いばらき出会いサポートセンターの登録会員のうち2021年度にお見合いされた方が前年度の2倍に急増したことやAIによるマッチング支援をはじめ、スマートフォンなど会員個人の端末から相手を検索できる仕組み

に変更したことで利便性も向上してきている等の状況を踏まえ、希望する方々への
いばらき出会いサポートセンターへの登録手数料の助成は継続し、「出会いの場」を
求めている方々へその機会の提供に努めていきたいと考えております。

一方で、民間での婚活事業の高まりや個人の自主的な活動にも期待を寄せながら
行政としての結婚活動支援事業については、そのあり方・対応を含め適宜見直しを図
ることとしてまいります。

2 基本政策：共に学び成長しながら生きる

施策：未来を担う人財「鹿嶋っ子」を育む

【総合戦略事業】

教職員指導対策費

【具体的な事業/概要】

鹿嶋市授業改善プロジェクトをとおして、指導力の向上及び児童・生徒の国語・算数(数学)
の学力(特にすべての学習で重要な国語教育による言語能力)の向上を目指す

【K P I (事業指標)】

《変更》

変更前：国語・算数(数学)の全国学力・学習状況調査(既指標)

現状値：国県同等 目標値：国県超

変更後：学校における教職員の授業公開の年間回数(小学校全体の実施回数)

現状値：260回/年 目標値：520回/年

理由：学校や学びの在り方などが新たな局面を迎える中、本市は先駆的に英語教育をはじめ、アクティブ・ラーニング、ICT教育機器の導入など新たな学びのスタイルを取り入れてきましたが、学力の向上には、全ての学びの基礎となる国語・算数の能力を高めることが重要であるため、総合戦略事業としています。

当初のK P Iは、単に国語・算数(数学)の全国学力・学習状況調査の児童生徒の学力平均の国県超えをK P Iとして目標にしておりましたが、児童・生徒の学力向上には、特に教職員の指導力の向上を図ることが重要であることから、今般、鹿嶋市授業改善プロジェクトとしての授業公開を通じた教職員の授業研究(アドバイス・研修・指導)、授業改善の実施回数をK P Iに変更し、これまで以上に授業研究を充実させ、児童生徒の国語・算数(数学)の学力向上を図ってまいります。